

県政Walker

特別号



兵庫県議会議員



もし兵庫県が100人の村だったら

EBPM(Evidence-based Policy Making) データに基づいた政策の話

中田英一

就労者の多い村

100人の村人のうち **46人**が就業しています。

そのうち **41人**は雇用されています。

23人は正規雇用、**1人**は派遣社員、

15人はパート・アルバイト等、**2人**は役員です。

3人は事業主や開業医・弁護士などです。

2人は家族従業者などその他の仕事をしています。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 就業状態等基本集計

36人が村にある事業所で働いています。

従業者が多いのは、

製造業 9人、**卸売業や小売業 6人**、**医療や福祉 6人**です。

村の売上も **38%**が製造業(うち半分は輸送用機械器具製造業)

20%が卸売業や小売業

15%が医療や福祉で、この3業種が多くを占めています。

【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

子供・学生の多い村

100人の村人のうち

40人が在学・在園しています。

10人は未就学児

11人は小学生

6人は中学生

6人は高校生

1人は短大・高専生

7人は大学・大学院生です。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第15-3表

もし兵庫県が
100人の村だったら

村人の **36人**が在学・在園

10人は未就学児

10人は小学生

5人は中学生

5人は高校生

1人は短大・高専生

5人は大学・大学院生

政策

03

子供の豊かな育ちを支える教育・保育現場は、コロナ対応業務も加わり多忙を極めています。また、子供達も、休校・休園や交流不足による不安にさらされ、不登校も急増しています。

多忙化を解消し児童・生徒が手厚い配慮・教育を受けられるよう、取組んで参ります。

子育て・持ち家世帯の多い村(定住傾向)

三田村には **39**の世帯があります。

13世帯 48人は夫婦と子供で

3世帯 8人は母子または父子で

10世帯は夫婦のみで

9世帯は一人暮らししています。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 人口等基本集計 第9-1表、第9-2表

31世帯は持ち家で

5世帯は民間の借家で

2世帯は県営住宅やURで

1世帯は給与住宅で暮らしています。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 人口等基本集計 第18-4表

もし兵庫県が
100人の村だったら

村には **44**世帯

12世帯 43人は夫婦と子供

4世帯 10人は母子または父子

9世帯は夫婦のみ

16世帯は一人暮らし

28世帯は持ち家

11世帯は民間の借家

3世帯は県営住宅やUR

1世帯は給与住宅

政策

04

三田は家族で持ち家に住む人の割合が高い街といえますが、持ち家は大切な資産で街の魅力や人気は、持ち家の価格に直結します。人口減少・流出によって空き家が増えると予測されていますが、市の魅力を高めて発信することで、街の価値は維持・向上することができます。そのために、**市街化調整区域(原則新たな建築ができない地域)の見直し**をさらに進め、地域のニーズや時代に合った街づくりに取組んで参ります。

政策

01

三田にはテクノパークをはじめとした工場群が立地しており、製造業従事者が人口の9割を占めています。働く場所を更に充実させるためにも、**第三テクノパークの支援**に取り組みます。また、三田市の農家は大半が兼業農家のため数字として出てきませんが、**農業も基盤産業の一つ**です。引き続きブランド化・販路拡大・担い手支援を行います。

交通インフラに支えられる村

三田村に暮らす **100人**の村人のうち

55人が通勤通学しています。

うち **26人**は村の外に通勤通学しています。

トップ3は、**神戸へ7人**、**大阪へ6人**、**西宮へ2人**です。

別の村から、**19人**が三田へ通勤通学してきます。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計 第6-1表

政策

02

多くの市民が市外へ通勤するいわゆる「ベッドタウン」は三田市の特徴の1つで優れた住環境があることを表していると考えます。他市で働く人にも選ばれる街であるために、**交通インフラ整備や利便向上**、また関学をはじめ特色ある大学・専門学校が立地しているメリットを活かすためにも**学生の環境改善**も目指して参ります。

子育て共働き世帯の多い村

村には **25組** の夫婦がいます。

- 11組は共働き
- 6組は夫のみ就業
- 1組は妻のみ就業
- 5組は夫婦ともに未就業
- 2組は不詳です。

もし兵庫県が **100人の村** だったら

- 村には **23組** の夫婦
- 10組が共働き
- 5組は夫のみ就業
- 1組は妻のみ就業
- 5組は夫婦ともに未就業

県全体でも子育て世帯の多くは共働きとなっています。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 人口等基本集計 第25-1表、第25-2表

納税者割合の高い村

村の **53人** が住民税の納税義務者です。

- 5人は均等割のみ
- 48人は均等割と所得割が課税されています。

住民税には均等割(5,800円)と所得割(対象所得の10%)があり、この48人の平均課税対象所得は、358万円で、芦屋、西宮、宝塚、神戸に次いで県下4位です。
また、均等割を課税されている人の割合は宍粟市に次いで県下2位、所得割を課税されている人の割合は県下1位です。

【出典】総務省「国勢調査」令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第15-3表

政策05 三田は就業者の割合が高く、特に子育て世代は共働き世帯が多数を占めます。**行政による子育てのサポートはもはや必須。**三田が「子育てしやすいまち」を再び前に掲げられるよう、県においてしっかり取り組んで参ります。

政策06 県全体で比べても、三田は、納税者の割合が高く、活気ある街です。しかし、三田は近い将来、県下で最も高齢化の進んだ街の1つになると予測されています。三田市への来訪者や移住者が増え、活力ある街を維持できるよう、危機感をもって取り組みます。

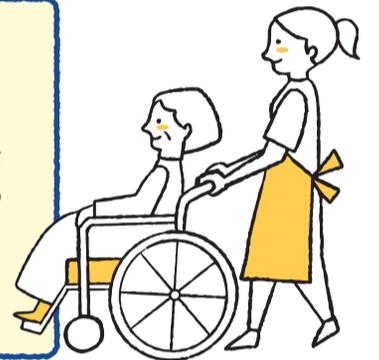
これから急激な高齢化が予測される村

要介護と認定された人が **4人** います。

10年前は **3人**、15年前は **2人** でした。

【出典】厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」
(要介護認定者とは、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。)

政策07 予想される高齢化に備え、**リハビリ・介護施設の充実**を進めて参ります。また、県議会において、介護従事者の処遇改善や、介護支援機器・感染防止設備などの導入するよう、県に求めました。介護人材が確保され、必要な介護が受けられるよう、引き続き働きかけます。



20年前は **102人** が住んでいて、
22人は **0～14歳**
68人は **15～64歳**
12人は **65歳以上** でした。

今は **100人** が住んでいて、
13人は **0～14歳**
60人は **15～64歳**
27人は **65歳以上** です。

20年後には **86人** が住み、
10人は **0～14歳**
42人は **15～64歳**
34人は **65歳以上** になりそうです。

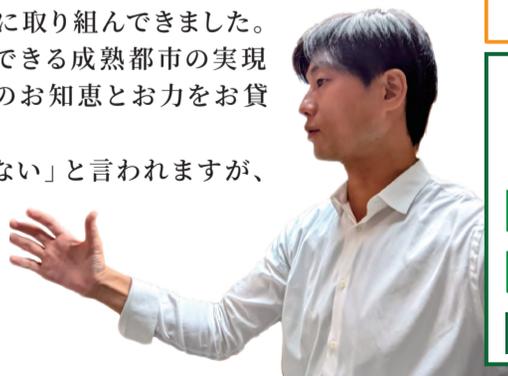
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

1980年代から開発された北摂三田ニュータウンの発展により、三田市は人口ボーナス期を謳歌してきました。その結果、県全体で比較しても現役世代が多くを占め、所得が高く、持ち家率が高く、賑わいと活気のある街がつけられました。

私はこのまちが大好きです。しかしこのままでは、急激な人口減少、少子・高齢化、施設の老朽化、近隣センター等の衰退、空き家・空き地の増加等が懸念されています。今ここが正念場です。

私は、初当選の11年前から、一貫してこの問題に取り組んできました。これからも、誰もが安心して暮らし続けることができる成熟都市の実現に向けて、尽力して参りますので、引き続き皆様のお知恵とお力をお貸しください。

「議員は改選のある4年先のことしか考えていない」と言われますが、子育て世代・責任世代として、また三田を故郷とする者として20年後も50年後も活気に溢れる素晴らしい三田を目指し皆様と共に歩んで参ります。



【速報】令和5年度計画

企業誘致の促進 R5[15.3億円]

- ・成長産業を重点支援
- ・中小企業の要件を大幅緩和

通常	重点業種	水素関連
5%	7%	10%

三田の第3テクノパーク構想の後押しに!!

- 【重点業種】
- ①次世代エネルギー
 - ②蓄電池(リチウム電池)
 - ③航空産業
 - ④ロボット産業
 - ⑤健康医療産業
 - ⑥半導体産業

市街化調整区域の見直し進む!!

【目的】社会経済情勢の変化(人口減少や分散化)などを的確に反映させるため区域区分(市街化調整区域)を含む都市計画の見直し

- R4年度** ・各市町が抱える課題や意向等を把握
・他府県事例を分析し、区域区分の廃止による影響等について調査
- R5年度** ・市町の意向把握、市町間の調整
・社会経済情勢の変化に対応した都市計画の方向性を検証
- R6年度** 都市計画マスタープランの改訂

地方が成長する可能性を追求します

その他、コロナによる生活や事業の困りごとなどなんでもご相談ください!

ご要望・お問い合わせはこちら

兵庫県議会議員

中田英一事務所

【平日：10時～16時】

三田市相生町 21-12
TEL + FAX (079) 509-0033
Mail: info@nacata.net



Profile 略歴

1981年5月29日生まれ 北摂第一幼稚園
武庫小学校 狭間中学校 北摂三田高校
関西学院大学 甲南大学法学科大学院
特許事務所 行政書士 道の駅 介護職
兵庫県議会議員(ひょうご県民連合議員団所属)